

(日刊)

北日本新聞

2015年(平成27年)
5月22日
金曜日



南の風日中西の
風やや強く晴朝
から昼前曇

エムダイヤ

電動式切断機を開発

リサイクル処理 省エネ・静音化

リサイクル設備設計・製造のエムダイヤ(滑川市中村、森弘吉社長)は、ケーブルやゴムなどリサイクル原料の切断機「エコカッター」で、既存の油圧式に比べ消費電力を大幅に減らせる電動式を新たに開発した。消費電力は待機時で油圧式の約10分の1、切断時で約3分の1に低減。油圧ユニットをなくすことで省スペース化、静音化も実現した。試験運転を進め、年内の発売を目指す。(經濟部・高木健成)

エムダイヤは、独自の「エコーパレ分離・破砕機」を中心としたリサイクルプラントの設計、製造を主力とする。エコカッターは分離・破砕処理の前段階として、リサイクル原料を処理しやすいよう大型の刃で切断する装置。油圧式は、本体と別にある油圧ユニットが力を送り込んで切断する仕組みだが、消費電力や騒音が大きい点が課題だった。また、油圧ユニットだけで大きさが1立方メートル超、重たい超になるため、ラインを構築する際、工場スペースを圧迫することも難点だった。

新開発した電動式はサーボ(自動制御)機構を備え、リサイクル原料の材質・形状に応じてきめ細かく力を制御することで消費電力を削減。油圧ユニットが不要なため、油圧式に比べて狭いスペースにも設置できる。開発に当たっては国の補助金を受けた。

原材料高騰や資源の有効活用の観点から、タイヤやケーブル、家電製品などのリサイクルニーズは



エムダイヤが開発した電動式の切断機。滑川市中村

とやま経済

年々高まっている。ただ、全国的に電気料金の改定が相次ぐ中、リサイクルの処理工程そのものの省エネ化も求められている。同社はこうしたニーズに応える製品として、電動式エコカッターの販路開拓に取り組む。